



生活保護ケースワークAI支援サービス
(ASPコード：A831615)

ご説明資料

北日本コンピューターサービス（株）

会社名 北日本コンピューターサービス(株)

設立 昭和44年5月19日

従業員 233名（令和7年9月30日現在）

本社 秋田県秋田市

事業所 札幌市・仙台市・さいたま市・大阪市・福岡市



生活保護システム

全国シェアNo.1 558団体様でご利用（令和7年11月時点）



財産調査ユニットPiMS

行政機関（29条調査）×金融機関における預貯金等調査デジタル化のプラットフォーム
全国232部局様でご利用（令和8年5月時点）



(1) 「WAISE」の概要説明

(2) 「WAISE」の導入事例

WAISE（ワイズ）とは？

WAISEは、生活保護業務における調査業務を支援する行政機関向けのサービスです。

生活保護業務に必要な法令・通知等を集約し、AIにより必要な情報を迅速に確認できることで、調査時間の削減と職員スキルの平準化を実現し、住民サービスの向上を支援します。

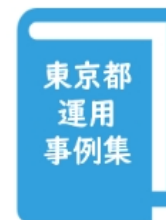


図：AI検索画面



図：AI検索結果画面

搭載情報について



「生活保護法令」「国通知文」「生活保護問答集」「東京都運用事例集」※「裁判判例」
上記7つの情報を搭載しております。

また、法改正等があった場合は、弊社にて情報を更新しております。

※「裁判判例」はインターネット版のみ搭載されております。



現状の課題

膨大な情報から必要な情報を探すのに時間がかかり、重たく分厚い辞書や増え続ける通知文の持ち運びがとても不便である。



WAISEで解決

情報が一元化され、AIが最適な回答案を提示します！

QA登録・検索機能について

WAISEでは、各利用者様が業務の中で得た知見や対応事例をQAとして登録し、全国の利用者様同士で共有・検索することが可能です。
全国のノウハウが蓄積されることで、保護手帳や通達のみでは把握が難しい実際の現場で行われた事例についても検索が可能となります。

図：QA登録画面

現状の課題

人事異動や多忙な業務環境により、過去の経験やノウハウが上手く共有できない。
他団体にどのような対応をしているか知りたいが、共有の場がない。

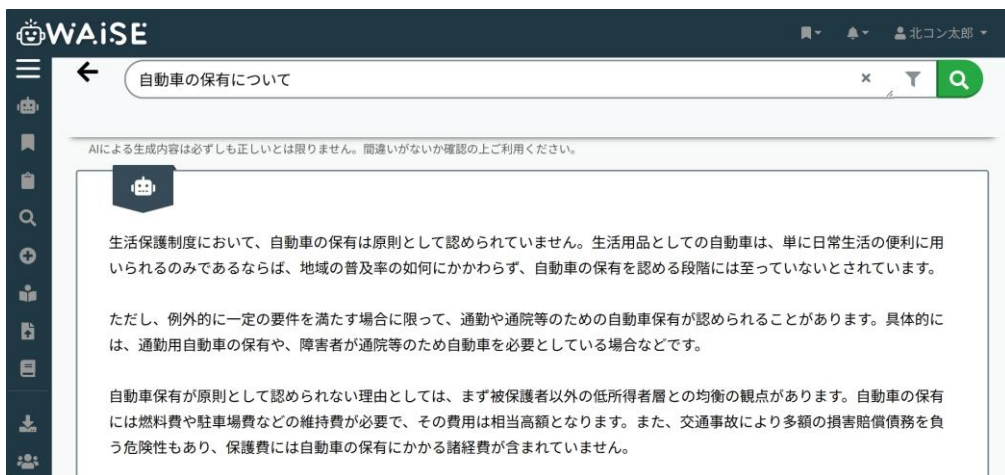
WAISEで解決

WAISEに過去の経験やノウハウを登録することで、新入職員への継承や課内共有が無理なく行えます！

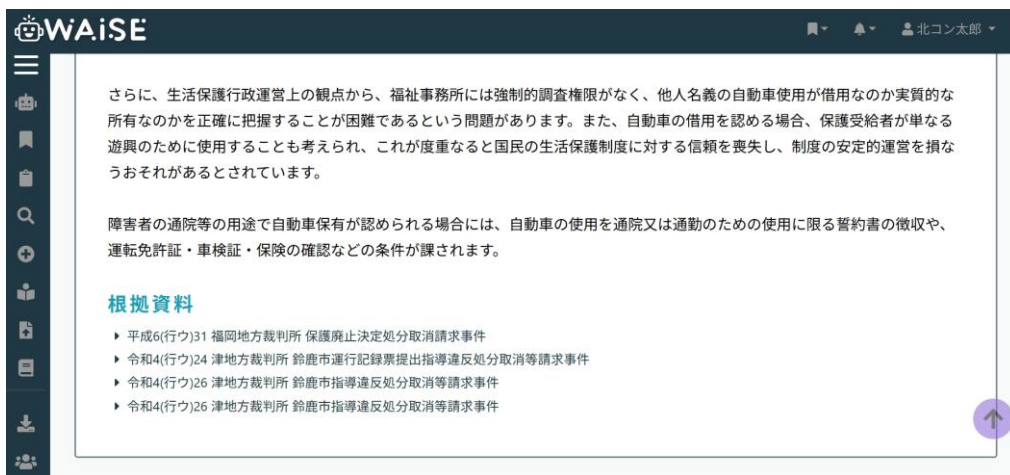
公開QAを活用することで、他団体の業務支援や事例等の情報を参照できます！

新機能（裁判判例検索）※インターネット版

今年度より新たに裁判判例の検索機能がWAISEに搭載されました。判例検索は従来の回答案と変わり、生成AIが学習している判例データを基に、回答文章を作成、根拠資料の添付もあるため信憑性のある回答案を提示します。こちらの機能はインターネット回線での使用となり、将来的には携帯端末においてもWAISEが使用できるよう開発を進めております。

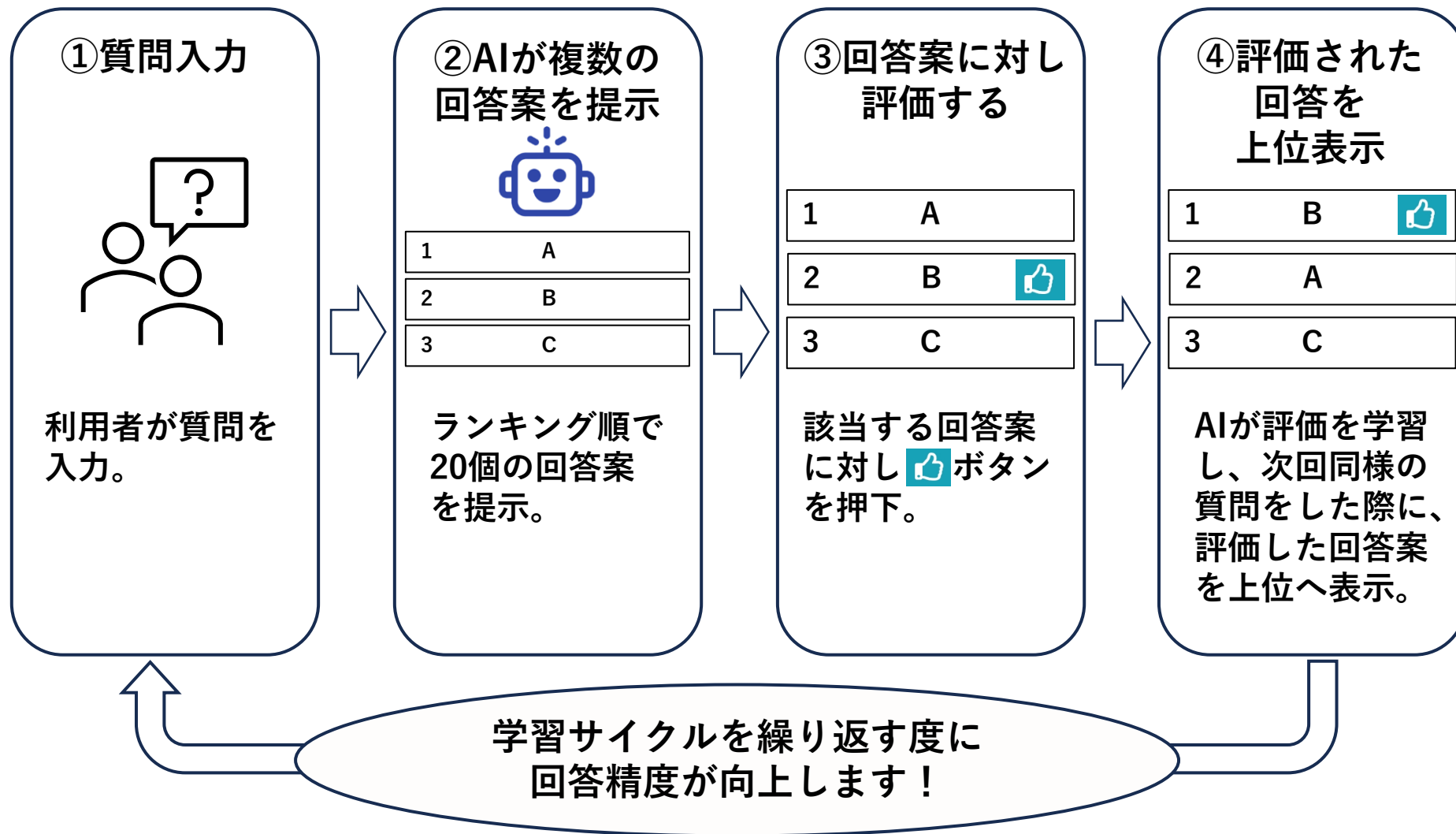


図：判例検索結果画面①



図：判例検索結果画面②

学習機能について



利用端末について

LGWAN端末



LGWAN端末にてご利用いただけます。

インターネット系端末



インターネット版WAISEの導入ユーザー様に限り、ご利用いただけます。

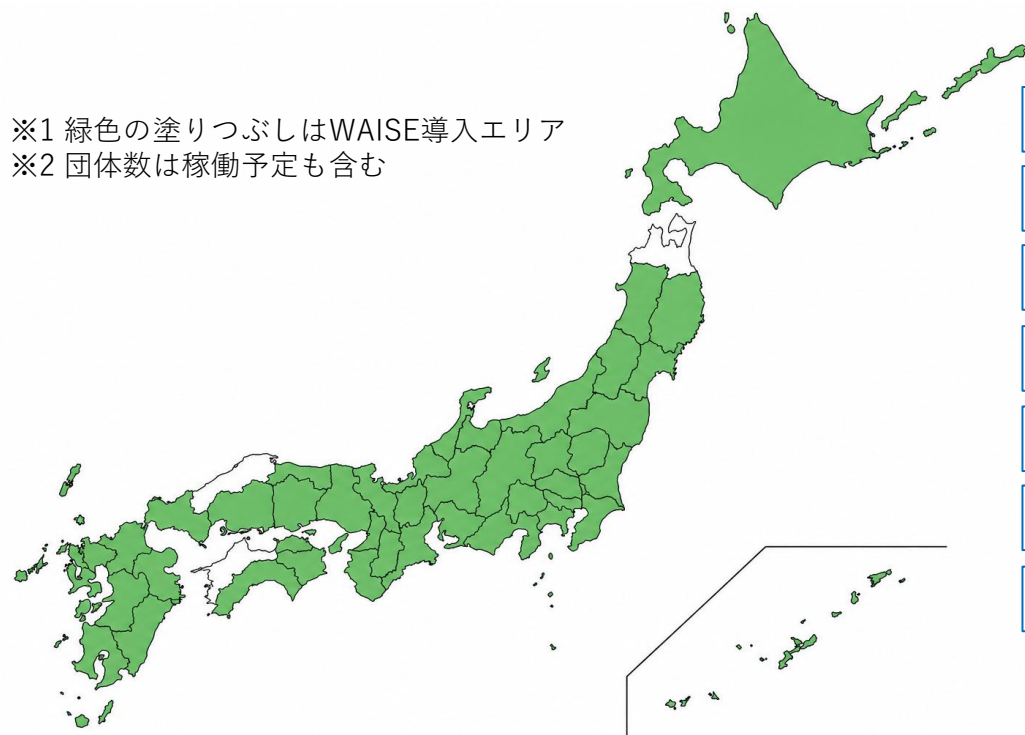
個人番号利用事務系端末



ご利用いただけますが、庁内NW設定変更が必要です。

令和5年7月リリース以降、利用開始前自治体を含め
全国**309**団体様にご採用いただいています。

※1 緑色の塗りつぶしはWAISE導入エリア
※2 団体数は稼働予定も含む



北海道・東北 **30**団体

関東 **82**団体

北陸甲信越 **38**団体

東海 **30**団体

関西 **40**団体

中国・四国 **36**団体

九州・沖縄 **53**団体

導入自治体（一例）

政令指定都市

仙台市、横浜市、大阪市、神戸市
福岡市…

中核市

山形市、八王子市、富山市、金沢市
甲府市、豊田市、奈良市、和歌山市
福山市、宮崎市、那覇市…

都道府県庁

山形県庁、群馬県庁、千葉県庁
神奈川県庁、山梨県庁、奈良県庁
和歌山県庁、鳥取県庁、徳島県庁
佐賀県庁、長崎県庁、鹿児島県庁
沖縄県庁…

特別区

練馬区、目黒区、文京区、足立区
杉並区、荒川区、港区、江東区
江戸川区…

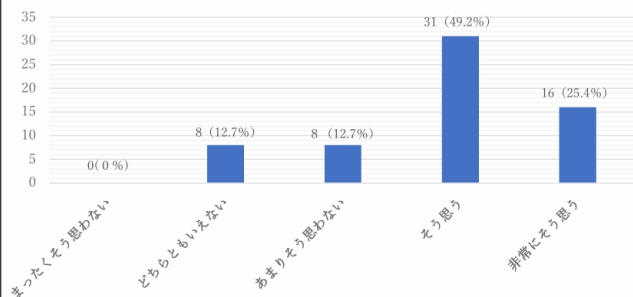
【和歌山県】令和7年度 課題解決型デジタル活用プロジェクト推進事業

生活保護業務の効率化及び生活保護行政の質の向上を目的とし、和歌山県の実証事業にて全国初県内すべての福祉事務所でWAISEの共同利用が行われました。

URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020400/d00222046.html>



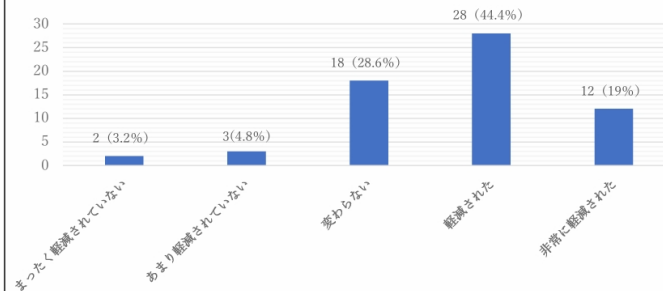
【設問4】システム導入前と比べて、個別ケース対応時に必要な法令・制度情報を迅速に見つけられるようになりましたか。



全体の 74% の方から「そう思う」「非常にそう思う」との回答を得られた。調査時間削減を実感いただき、高い評価を得ることができたと考えられる。

※コメント一部抜粋

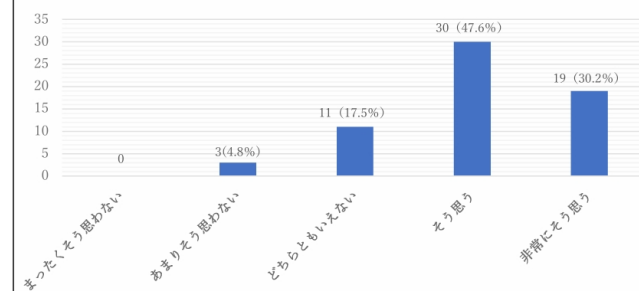
【設問7】システム導入により、調べものに費やす心理的な負担は軽減されましたか。



全体の 63% の方から「軽減された」「非常に軽減された」との回答を得られた。従来行っていた大量の参考資料から回答を導き出す作業と比較すると、WAISEでの検索は心理的負担を軽減できるとの仮説を持っていたため、今回それを一定程度証明できた。

※コメント一部抜粋

【設問9】経験の浅い職員の経験不足を補うシステムだと思いますか。



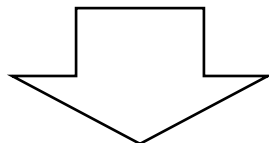
全体の 78% の方から「そう思う」「非常にそう思う」との評価をいただいた。回答者の内訳として経験年数2年未満・2年以上それぞれ半々となっていることから、経験年数問わず評価いただいたところである。

※コメント一部抜粋・読みやすさを考慮し表現を調整しております。

W 「WAISE」の導入実績②-2

本実証でWAISEを使用した職員様から頂いたお声

- ・ 生成AIにしてほしい（根拠も提示）判例も対象にしてほしい。
- ・ 現状は法律等の検索機能のみであるが、生成AIのような形で利用者の質問に対して法律をもとにした回答を出してもらえるような機能があれば使いやすい。
- ・ LGWAN でプログラムを開く必要があるため、WAISE を立ち上げてサイトに入る時間と紙の保護手帳で調べる時間がほとんど変わりません。



判例の検索機能を追加
生成AIでの回答機能を追加（判例検索のみ）
インターネット版WAISEをリリース

WAISEはお客様より頂戴したご意見・ご要望をもとに、改善を重ねております。

複雑な法令、通知確認を**AI**でもっと簡単に！

AIの力で、生活保護業務の新しいスタンダードを。

業務効率化 × 判断支援 × 品質向上 = より良い支援の実現

東日本：☎048-640-1855

西日本：☎06-6394-8666

